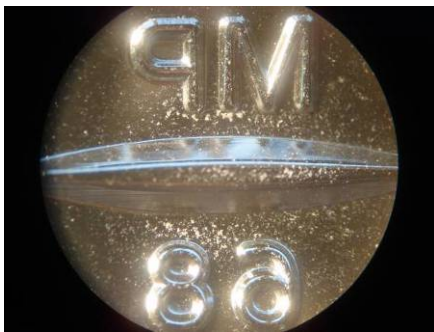
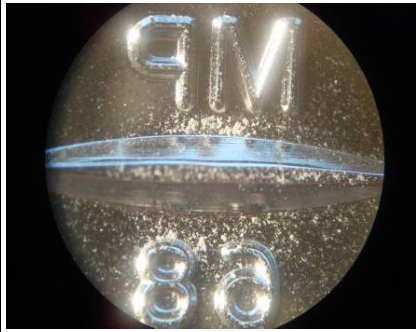
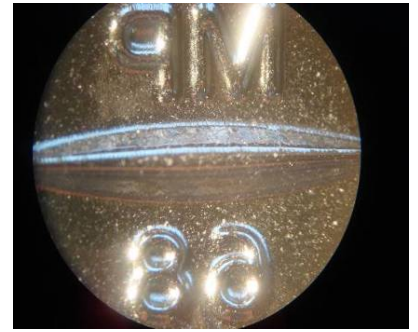
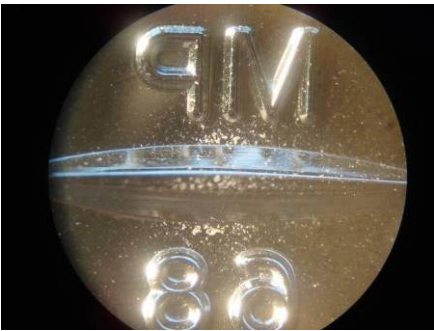
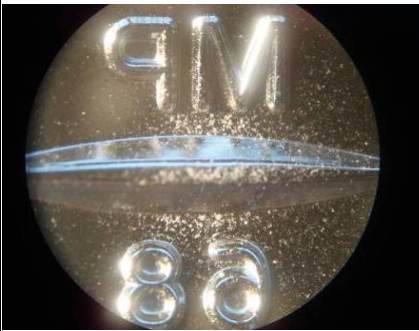
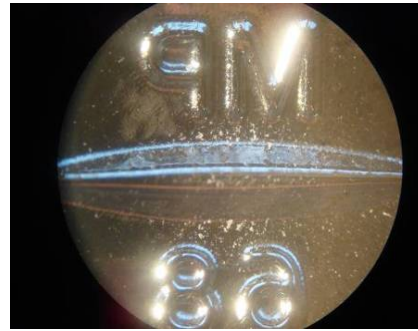


イブプロフェン+マンニトール+アイロジル高打圧打錠試験

目的	刻印付き杵の付着量の変化を観察する。
使用薬剤	イブプロフェン30%・マンニトール70%・アイロジル0, 5%
使用杵	鏡面+HCr・鏡面+CrN・EIP 以上3種類の上下の杵
回転数	40rpm
打圧	本圧上ロール 470kgf 本圧下ロール 430kgf 予圧上ロール 40kgf 予圧下ロール 60kgf 押上圧力 16kgf 錠剤硬度 50~60N
試験方法	①表面処理の異なる杵を、タブレットマシンを使用して高打圧にて打錠する。 ②打錠時間を均一に設定して打錠する。 ③打錠後、顕微鏡にて打錠面を観察する。

臼の打錠試験後の写真

		
鏡面+HcR 下杵 40rpm で 81 分打錠	鏡面+CrN 下杵 40rpm で 81 分打錠	EIP 杵 下杵 40rpm で 81 分打錠
		
鏡面+HcR 上杵 40rpm で 81 分打錠	鏡面+CrN 上杵 40rpm で 81 分打錠	鏡面+CrN 上杵 40rpm で 81 分打錠

結 果

- ◆ 鏡面+HCr
下杵には、中心部に粒状の付着が発生した。
上杵には、中心部に粒状の付着が少し発生した。下杵に比べると付着は少ない。
- ◆ 鏡面+CrN
下杵には、中心部に粒状の付着が発生した。
上杵には、中心部に粒状の付着が発生した。下杵に比べると付着は少ない。
鏡面+HCr と比較すると、鏡面+CrN の方が付着が多い。
- ◆ EIP(BN 合金層)

下杵には、杵全面に、まばらに粒状の付着が発生した。

上杵には、中心部に粒状の薄い付着がわずかに発生した。

以上の結果から、フッ素複合メッキ臼はステアリン酸マグネシウムを含有しない、イブプロフェン+マンニトール+アイロジルを高打圧で打錠する場合使用できることが判明した。